

# セチュラの風だより

2019年8月 第五号



## 日本文化をペルー・イカ州で紹介！！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？今回は、6月23日(日曜)にペルーイカ州で行われた JICA 帰国研修員同窓会(APEBEJA)主催の日本文化ワークショップ(TALLER CULTURA JAPONESA)について紹介したいと思います。当日は、約 300 人が来場し大盛況でした！！

### 日本文化はペルーでも大人気！？

日本文化ワークショップでは、ペルーで活動している約 20 人の協力隊員と JICA 関係者が協力して体験型アトラクション(折り紙・着付け教室・茶道・書道・豆つかみ・空手・柔道)を行いました。私は、小学生から習っていた書道をペルーの方に紹介しました。

自分の書いた書道に誇らしげな人、筆の使い方を熱心に練習する人、空手に大興奮な人、みんなとても楽しそうでした。ペルー人は、日本文化にとっても興味があるのだなという事を改めて実感しました。

また、新たな視点でペルーの人々について知る機会となり、より一層ペルーの事が好きになりました。



空手の実演



書道体験

### ペルー・イカ州ってどんな街？

今回は、開催地ペルー・イカ州について紹介します。イカ州は、首都のリマからバスで5時間ペルー南側のコスタ(海岸沿い)に位置し、21万人が住む都市です。パラカス国立自然保護区、ワカチナ、ナスカの地上絵が有名で、ブドウ、アスパラガス、玉ねぎを国外に輸出しています。また、イカ州で作られるピスコ(ペルー独自のブドウ酒)やワインはペルー国内外から高品質と評価されています。現在 JICA の協力隊員が5名活動しています。



ワカチナ・砂漠に眠るオアシス